

キューバ共和国にたいするアメリカ合衆国政府の経済封鎖に抗議し インターナショナリズムの精神を発揮して全世界で新型コロナウイルス感染症と戦う キューバ医師団をはじめキューバ人民への連帯メッセージ

〈活動家集団 思想運動〉全国運営委員会

以下のメッセージは二〇二〇年四月十二日開催の〈活動家集団 思想運動〉第五一年度第四回全国運営委員会で決議した。【編集部】

同志のみなさん

現在、新型コロナウイルス感染症（COVID19）はパンデミックを惹き起こして全世界に拡がり、甚大な人的・物的被害を人類におよぼしています。人類が一致協力してこの感染症封じ込めにむけて戦わなければならないこのときに、アメリカ合衆国政府は、キューバ共和国政府と人民にたいして経済封鎖をはじめとする制裁措置を一段と強化しています。これはキューバ人民に対する非人道的殺人行為であり、ひいては全世界人民にたいする挑戦にほかなりません。わたしたちは、こうしたアメリカ合衆国政府のキューバ共和国政府と人民にたいする経済封鎖に断固とした抗議の意思を表明するとともに、即刻、この経済封鎖を解除することを強く要求するものです。

こうしたなかでも、キューバ共和国政府は国内で新型コロナウイルス感染症の拡大を抑えるために必要な措置をほどこし、キューバ人民が安心して生活できる最大限の取り組みを行なっています。そればかりか、各国が感染症防止の対応に追われるなか、キューバ共和国政府はインターナショナリズムの精神を発揮して、キューバ医師団を全世界に派遣し、新型コロナウイルス感染症の封じ込めのために現場で戦っています。このインターナショナリズムの精神は、故フィデル-カストロ国家評議会議長をはじめとするキューバ革命戦士がキューバ革命遂行のなかで確立した遺訓であり、現在もキューバ共産党とキューバ共和国政府およびキューバ人民に引き継がれている崇高な理念であり、わたしたちをはじめ社会主義をめざす全世界の労働者・人民がとるべき模範を率先して示しています。

わたしたちは、キューバ医師団とキューバ共和国政府が発揮するインターナショナリズムの実践に励ましを受け、はるか海を越えてコミュニストとしての連帯のあいさつを送ります。そして、キューバ人民の実践にまなび、自国のことのみにとらわれるのではなく、ひろく全世界に目をむけて、この新型コロナウイルス感染症を奇貨として資本主義が労働者・人民に押し付けてくる抑圧・収奪・排外主義にたいして、この日本の地でたたかっていくことを誓います。

二〇二〇年四月十二日

（『思想運動』1052号 2020年5月1日号）